



わかさ

消防だより

編集・発行
若狭(組)消防本部
小浜市大手町7-8
TEL 53-0119(代)
<http://www.wakasa-fd.jp>

第79号

第37回 全国消防職員意見発表



山下消防副士長 最優秀賞を受賞



「笑顔につながるAED」

若狭消防署上中分署に勤務する山下倫弘消防副士長が、県大会、東近畿支部大会と予選を勝ち抜き、5月28日開催の第37回全国消防職員意見発表大会に出場し、見事に最優秀賞を受賞しました。

山下消防副士長は、自身の経験からAEDをもっと身近な場所となる24時間営業のコンビニエンスストアに設置すれば、救える命があると訴えました。

今、この提案に賛同し、コンビニエンスストアへ設置する動きが始まっています。



AEDとは、Automated External Defibrillatorの略で、和訳すると自動体外式除細動器という医療機器のことを言います。

突然倒れた人などは、心停止が疑われます。そこで心臓がブルブルと細かくふるえる心室細動のときには、この機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電氣的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器のことで、一般の方でも使用することができます。

若狭消防署では、救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用方法）を受講できます。最寄りの消防署までお問い合わせください。

防火ポスター審査結果

若狭消防管内の小中学生を対象に防火ポスターを募集したところ、1,308点の応募がありました。9月17日に審査会を開催し120点の入賞作品を選出しました。

さらに推薦作品の中から次の3点を福井県防火ポスターコンクールへ応募したところ、口名田小学校6年 村松正継君の作品が優秀賞を受賞し、11月22日開催の福井県消防大会で表彰されることになりました。また、若狭地区防火推進協会創立40周年記念特別賞として、小浜第二中学校1年 東野百華さんの作品が選ばれ、11月1日の記念行事において表彰されました。

推薦「若狭消防組合管理者賞」

福井県防火ポスターコンクール入賞作品



優秀賞
口名田小学校 6年
村松正継 君



佳作
小浜小学校 6年
松見和哉 君

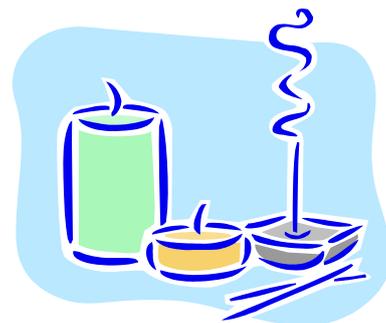


佳作
佐分利小学校 4年
橋本七生 さん

国富小 1年	熊谷 瑛人
佐分利小1年	野村 璃来
口名田小2年	織田 晴仁
野木小 2年	竹村 凌一
小浜小 3年	豊田 彩音
佐分利小3年	野村 隼来
今富小 4年	吉田 慎之介
佐分利小4年	橋本 七生
名田庄小4年	小堂 愛美
口名田小5年	富田 健心
青郷小 5年	岩本 好正
小浜小 6年	松見 和哉
口名田小6年	村松 正継
小浜二中1年	島田 和磨
小浜二中1年	東野 百華
上中中 2年	塚本 瑞人
上中中 2年	橋本 莉奈

ろうソクの火が飛び上がる??

ご家庭でろうソクと言え、仏壇の燭台しよくだい（ろうソクを立てるための台）にろうソクを立てて、火を灯される場合が多いと思いますが、昨年、火災調査を行った枚方寝屋川消防組合消防本部からろうソクが起因する火災について情報提供がありましたのでご紹介します。



それは、燭台受皿のろうソクを立てる針の根本部分に水分がある場合、ろうソクが燃焼終盤に「バチバチ」と音を鳴らしながら燃え、その後、突然「バチッ」と音が鳴ると同時にろうソクの芯が、火のついたまま受皿上から落下するものです。繰り返しの実験では、条件が揃うと約50cm上方へ飛び上がることも確認されました。

これは、受皿上の水分が液化し高温となったろうと接触し、急激に水蒸気化するもので、その反応の衝撃で火のついたろうソクの芯が落下もしくは飛び上がったものと思われます。

火災予防の対策として、

- ①ろうソクを灯している時は、その場を離れない。
- ②用途以外に使用しない。
- ③燃えやすいものの近くでは、絶対に使用しない。
- ④ろうソクの穴にあった燭台を使用し、できるだけ古くなった燭台の使用は控える。
- ⑤燭台を水で洗った場合は、必ず水分を拭き取り、すぐの使用は控え、十分に乾いてから使用する。

以上5点に加え、使用後は必ず消火を確認しましょう。また、住宅用火災警報器や住宅用消火器などを備えることもお勧めします。

若狭地区防火推進協会が 創立40周年

若狭地区防火推進協会は、昭和49年（1974年）4月26日に設立され、今年で創立40周年を迎えました。

11月1日（土）、創立40周年記念の行事として小浜市働く婦人の家 咲楽館（小浜市大手町4-1）において記念講演会が開催されました。



会場では、防火ポスターの記念特別賞に選ばれた小浜第二中学校1年 東野百華さんが表彰され、若狭消防署上中分署 山下倫弘消防副士長が全国消防職員意見発表大会での意見発表を披露しました。

その後、記念講演としてフリーアナウンサーの生島ヒロシさんが「言葉のチカラ～震災を乗り越え、伝えること～」と題して講演されました。



平成26年 若狭消防組合管内 上半期 火災統計

- 火災件数は、17件で前年比2件の増加
 - ・・・火災種別では、建物火災が6件（構成比35.3%）前年比3件増。
 - ※その他火災が11件（構成比64.7%）前年比3件減。
 - 車両火災・林野火災なし。
 - ※焚火の拡大、配線のショート

	本 署	上中分署	名田庄分署	高浜分署	大飯分署	合 計
火 災	6 (-2)	3 (+1)	0 (±0)	4 (±0)	4 (+3)	17 (+2)

若狭消防組合管内では下期（7月～）に入ってから、建物火災5件・その他火災2件が発生しています。

大きな火災が連続して発生していますので、今一度、火災予防・防災について、ご家庭・職場等で再確認し、安心・安全な地域づくりを目指しましょう。



平成26年度全国統一防火標語

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

－ 3つの習慣・4つの対策－

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

